



わが進明

校訓：明るく 正しく たくましく

福井市進明中学校
学校だより 第2号
平成31年4月23日
TEL (0776)20-5128
FAX (0776)20-5129

URL <http://www.fukui-city.ed.jp/shinmei-j/>

○健闘！福井地区春季強化大会

4月20、21日に、福井地区春季強化大会が開催されました。本大会は、県大会などの上位の大会にはつながりませんが、夏季大会のシード権を獲得したり、冬場の練習の成果を確認したりするための大切な大会でした。前年度新人大会以上の成績を残せた部もあれば、残念ながら下回った部もありました。入賞した部もそうでなかった部も、本大会の振り返りをしっかり行い、3年生にとっては最後の大会であり、全国へとつながる夏季大会に向けて一層充実した練習に励むことを願います。また、会場で声援を送っていただいた多くの保護者の皆様に心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。



成績	団体	個人
優勝		
2位		男子バドミントン総合ダブルス 竹野輔(3年) 長谷部陽(3年)
		女子バドミントン総合ダブルス 新井優那(3年) 工谷羽音(2年)
3位	男子バドミントン	男子バドミントン総合シングルス 福島伊楓(3年)
	女子バドミントン	

【男子バドミントン】
〈2回戦〉
進明中 2-1 明倫中
〈準決勝〉
進明中 0-2 至民中
〈第3シード決定戦〉
進明中 2-0 明道中
進明中 2-0 光陽中

【女子バドミントン】
〈1回戦〉
進明中 3-0 高志中
〈2回戦〉
進明中 2-0 光陽中
〈準決勝〉
進明中 0-2 至民中
〈第3シード決定戦〉
進明中 2-1 明倫中
進明中 2-1 明道中



〈他の競技（団体戦）〉

【女子ソフトテニス】
〈予選リーグ戦〉
進明中 0-3 秦中
進明中 0-3 足羽一中
進明中 2-1 鷹巣中



【男子バレーボール】
〈予選リーグ戦〉
進明中 0-2 至民中
進明中 0-2 足羽一中



【女子バレーボール】
〈予選リーグ戦〉
進明中 0-2 明倫中
進明中 2-0 上志比中
進明中 1-2 明倫中



【男子バスケットボール】
〈1回戦〉
進明中 50-37 明倫中
〈2回戦〉
進明中 46-77 明道中

【ソフトボール】
〈リーグ戦〉
進明中 2-17 足羽中
進明中 1-7 松岡中
進明中 3-8 大東中
進明中 0-7 灯明寺中

【軟式野球】
〈1回戦〉
進明中 2-0 成和中
〈2回戦〉
進明中 3-4 松岡中
(特別延長10回)

【男子卓球】
〈予選リーグ戦〉
進明中 0-3 永平寺中
進明中 1-3 高志中
進明中 3-2 松岡中

【女子バスケットボール】
〈1回戦〉
進明中 46-37 明倫中
〈2回戦〉
進明中 21-49 足羽中

○学びの風景 ～「授業開き」が一年間の流れを決める～

授業のスタートである「授業開き」は、一年間の流れを決めるものとしてとても大切です。一年間のスタートとなる授業開きで、子どもたちの気持ちをぎゅっとつかみたいものです。そうすれば、子どもたちの意欲的な姿勢も高まり、「主体的な学び」も生まれるはずです。また、仮に前の年にスムーズにいかなかったとしても、子どもたちも新たなスタートしている四月に「面白そう」と思わせれば、その意欲は間違いなく一年間の学習の糧となるはずです。そういった意味でも、「授業開き」は何よりも重要だと言えるのかもしれない。4月12日（金）からいよいよ1年生の教科の授業が始まりました。その1限目の授業（まさしく授業開き）を全クラス参観しました。今回は、その授業の様子を紹介したいと思います。



まずは、1年4組英語の授業を覗いてみました。授業者は笠松先生です。生徒が英語で自己紹介をしていました。板書を見ると、名前・出身小学校・誕生日・好きなことなどを語る約束になっていることがわかります。教師が無作為に選んだネームカードが貼られ、そのカードに名前が書かれた生徒が順番に英語で自己紹介をしていました。どの生徒も中学校での初めての授業とは思えないほど、流暢な英語を話します。小学校の英語活動の成果でしょうか。数年前の英語の授業開きとは全く様子が違っていました。笠松先生は、生徒に英語で自己紹介させることで、生徒の英語力を確認しているように見えました。

続いて参観したのは、1年3組の技術・家庭科の授業。担当は前川先生です。小学校の家庭科で学習した調理実習を取り上げ、何を作ったのかを答えさせていました。近くの生徒同士で情報交換をさせましたが、全体での発表となるとなかなか手が挙がりません。前川先生は敢えて大袈裟に残念な表情を見せました。すると、その気持ちを察してか一人の生徒が手を挙げ発言しました。発言に対して反応がないと、前川先生はすかさず「発言に対しては拍手で反応するように」と、さりげなく学習のルールを示しました。前川先生の満面の笑顔に生徒は安心したのか、徐々に手を挙げ発言するようになるから不思議です。

次に訪れたのは1年2組の教室。学級担任である阪東先生の理科の授業です。阪東先生は、教科書冒頭の「理科室の決まり」というページを開くように指示していました。そのページには、理科室での実験の様子がイラストで示され、「この絵には誤った行動が10個示されている。どの行動が誤っているのか話し合ってみよう。」という課題が提示されていました。こんなことまで教科書に掲載されているのかと驚いてしまいました。学び方を学ぶ教科書です。全体での意見交換となり、10人ほどの生徒が一斉に手を挙げました。ある生徒が指名され「水が出っぱなし」と発言します。阪東先生は思わず「ホンマやね」と関西弁で応じます。教室に和やかな雰囲気の流れます。その後も挙手した生徒を次々と指名し答えさせていきます。その間、阪東先生は一切座席表を見ません。さすがです。わずか2日間で、生徒の顔と名前を覚えてしまっているようです。優しさに包まれた空間の中で授業が進みます。すでに担任と生徒たちとの間に信頼関係が築かれているように感じました。

最後に訪れたのは1年1組の美術の授業。担当は中内先生です。授業終了5分前でした。黒板には脳のイラストが貼られていました。そのイラストには、「左脳は記憶、言語、計算、時間、論理的思考」、「右脳は感性、非言語、非時間、ひらめき、直感的思考」と書かれていました。そして「アートで脳をパワーアップ」とも書かれていました。中内先生は、パステルでまず太陽、月、星、チューリップ、車などを描かせていました。生徒は記憶を頼りに描きます。つまり左脳を使って描いているそうです。最後に「今日の気分」という課題を与えます。何を描いていいのか一瞬左脳はパニックに陥ります。中内先生は、「この瞬間に美術が生まれる」と語っておられました。左脳を使って描くのではなく、右脳を使って描くことの大切さが語られます。そして最後に「時間を忘れて夢中になっている時間が右脳が働いている時だ。そのことで脳をパワーアップさせる。それが美術を学ぶ理由だ。」と熱く語って、1時間目の授業が終了しました。「なぜ美術を学ぶのか」、その意義が脳の働きを使って語られていました。授業を参観して、久しぶりに心地よい感動と満足感を味わいました。

5月の主な予定

9日(木)：1年心電図・血液検査 14日(火)：校医検診 15日(水)：前期生徒総会 16日(木)：校医検診
21日(火)～23日(木)：3年修学旅行 24日(金)：1, 2年校外学習 28日(火)：歯科検診 29日(水)：代
常学、生徒集会（色決め集会） 30日(木)：中間考査試験期間（～6日） 31日(金)：英語検定